



# チャレンジ！！オープンガバナンス(COG) その経験と期待

COG2021キックオフイベント  
2021年6月13日

# 本日の流れ

実際は第一部の議論が白熱して予定よりオーバーしました

- 開会プログラム説明 13:00
  - 審査委員長挨拶 本日の審査員紹介 協賛団体紹介
  - COG2020振り返り
- 第一部 昨年のファイナリスト近況報告と意見交換 13:10
  - グループA アプリ開発系 13:10-13:52
    - 「Team バードラン」:室蘭市 (連携体制賞)
    - 「MTI 企画部」:室蘭市
    - 「KAMA-gination」:鎌倉市 (アイデア賞)
    - 「未来減災課」:目黒区 (オープンガバナンス総合賞)
    - 意見交換
  - 休憩
  - グループB 実活動系(学生)13:57-14:26
    - 「越前市未来計画隊」:越前市
    - 「福井県立武生東高等学校Hino・Quest」:越前市 (学生賞)
    - 「Webビジネス組」:宇部市
    - 意見交換
  - グループC 実活動系(混成・市民)14:26-14:55
    - 「たまな放課後地域創造クラブ」:玉名市
    - 「VONS」:那覇市 (ハーバードイノベーション賞)
    - 「fromHANKAI3m」:京都市
    - 意見交換
  - 総括 14:55-15:00
  - 休憩

第二部COG2021の進め方説明 15:05-15:35

事務局説明

質疑応答

- 
- 共催（共同主催）
  - 東京大学公共政策大学院 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」教育・研究ユニット（STIG）
  - 東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム（GCL）
  - （一社）オープンガバナンスネットワーク（OGN）
  - 連携
  - Roy and Lila Ash Center for Democratic Governance (the Ash Center) at the John F. Kennedy School of Government at Harvard University
  - 協賛（予定）
  - LINE株式会社
  - （一財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）
  - Tableau Software
  - 後援
  - （一社）行政情報システム研究所、（一財）地域活性化センター、（一社）Code for Japan、（一社）オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン、（一社）オープン・コーポレイツ・ジャパン、デンマーク大使館 追加あり



# 目指すは次世代の 市民社会の創造

## モットー

- 市民も主役
  - 地域のことを自分ごとに
- 行政も主役
  - 地域のプラットフォームに
- オープンガバナンス
  - 市民と行政のオープンな協働

永遠のベータ版

## アイデアに磨きをかける3D

- データ分析と見える化
  - 社会の実相の確認と裏付け
- デザイン思考
  - 当事者の心を知る共感が原点
- デジタル技術
  - 21世紀の起爆剤をうまく使う

SDGsにも貢献

# COGはこれまで5回

---

- 参加自治体はネットで63
- 市民・学生チームは287
- COG2021では？



# 参加自治体実績



- |         |           |                            |
|---------|-----------|----------------------------|
| 1 札幌市   | 22 神奈川県   | 43 大阪市東住吉区                 |
| 2 室蘭市   | 23 横浜市    | 44 大阪市住之江区                 |
| 3 森町    | 24 横浜市金沢区 | 45 豊中市                     |
| 4 八戸市   | 25 川崎市宮前区 | 46 枚方市                     |
| 5 仙台市   | 26 鎌倉市    | 47 神戸市                     |
| 6 鶴岡市   | 27 新潟市    | 48 姫路市・福崎町・市川町・神河町・朝来市・養父市 |
| 7 南陽市   | 28 金沢市    | 49 西宮市                     |
| 8 会津若松市 | 29 鯖江市    | 50 加古川市                    |
| 9 水戸市   | 30 越前市    | 51 三田市                     |
| 10 春日部市 | 31 静岡市    | 52 生駒市                     |
| 11 深谷市  | 32 三島市    | 53 倉敷市                     |
| 12 松戸市  | 33 掛川市    | 54 宇部市                     |
| 13 茂原市  | 34 裾野市    | 55 高松市                     |
| 14 流山市  | 35 菊川市    | 56 松山市                     |
| 15 港区   | 36 牧之原市   | 57 八幡浜市                    |
| 16 文京区  | 37 大津市    | 58 北九州市                    |
| 17 品川区  | 38 近江八幡市  | 59 福岡市                     |
| 18 目黒区  | 39 草津市    | 60 小城市                     |
| 19 世田谷区 | 40 京都市    | 61 玉名市                     |
| 20 中野区  | 41 大阪府    | 62 日南市                     |
| 21 多摩市  | 42 大阪市    | 63 那覇市                     |



# COG2021のプロセス

## STEP1(いまここ)

自治体からの  
課題募集  
(2021年6月～8月)

市民目線で課題を発掘し  
関連の公開データと共に  
地域の課題をエントリー

## STEP2

市民／学生の  
解決アイデア募集  
(2021年9月～12月)

アイデアに磨きをかける3D  
データで事実を知り  
デザインで人を知り  
デジタルを活用する

## STEP3

最終公開審査と  
改善アドバイス  
(2022年1月～4月)

アイデアの実現目指して  
小さい第一歩を踏み出す  
持続と発展を視野に入れ  
その基礎固めを手がける

# COG審査委員会

## 審査委員長

城山 英明 (東京大学公共政策大学院・大学院法学政治学研究科教授)

## 審査副委員長

坂井 修一 (東京大学大学院情報理工学系研究科教授)

## 審査委員 (五十音順)

宇野 重規 (東京大学社会科学研究所教授)

大橋 弘 (東京大学公共政策大学院長・大学院経済学研究科教授)

川島 宏一 (筑波大学システム情報系社会工学域教授)

国谷 裕子 (元NHKクローズアップ現代 キャスター)

庄司 昌彦 (国際大学GLOCOM准教授)

関本 義秀 (東京大学空間情報科学研究センター教授)

林 千晶 ((株)ロフトワーク代表取締役)

渡辺 美智子 (立正大学データサイエンス学部教授)

## 運営コーディネーター

奥村 裕一 (社)OGN代表理事 元東京大学公共政策大学院客員教授





# COG2020の振り返り

- 参加自治体:31
- 市民・学生応募チーム:45
- 参加者数:254
- 市民チーム:10
- 混成チーム:16
- 学生チーム:19

1. 高齢化・介護・医療・健康	40%
2. 子育て・家族・教育	33%
3. まちづくり・交通	47%
4. 環境・エネルギー	16%
5. 防災・防犯	24%
6. 産業(一次、二次、三次)・働き方改革	22%
7. シビックプライド、観光	29%
8. スマートシティ・スマートシティズン(他の課題との組合せ可)	42%
9. 新型コロナが与える社会の変化を念頭においた課題(他の課題との組合せ可)	71%
10. その他(例:上の課題分類によらない取組)	20%

# ファイナリスト10チーム

自治体	グループ	応募チーム名	応募アイデア名	属性
室蘭市	A-1	Team バードラン(連携体制賞)	バードラン	混成
室蘭市	A-2	MTI 企画部	室蘭工業大学の大学生が作る、大学生と大学近隣住民向け、バス待ちストレス軽減システム	学生
目黒区	A-4	未来減災課(総合賞)	私のヒナン・ヒョウメイ	市民
鎌倉市	A-3	KAMA-gination(アイデア賞)	渋滞御免アプリ	混成
越前市	B-1	越前市未来計画隊	増え続ける外国人、国籍関係なく助け合うWell-beingなまちづくり ～リアルとデジタルからの5つのアプローチ～	学生
越前市	B-2	福井県立武生東高等学校Hino・Quest(学生賞)	Happy Project×高校生＝Hino・Quest 地域の多様な人と繋がりながら、高校生の視点で地域のHappyを生み出す	学生
京都市	C-3	fromHANKEI3m	HANKEI 3m ～身近な人と本音を言い合える関係へ～	混成
宇部市	B-3	Webビジネス組	宇部サイン	学生
玉名市	C-1	たまな放課後地域創造クラブ	開放的な空間で人々が繋がる	混成
那覇市	C-2	VONS(ハーバードイノベーション賞)	～学生・大人・地域の協働～MUGムグフードプロジェクト	混成

# 第一部：昨年のファイナリストの近況と意見交換

---

約二時間

# 基本ルール

- 各チーム発表3分
  - ごく簡単なアイデアの概要
  - 進捗状況と今後の予定
  - 課題
- A,B,Cグループごとにまとめて意見交換 20-30分
- 視聴者からの質問やコメントは sli.do
- 司会の太田垣恭子がファシリテート

# ファイナリスト10チーム発表順

アプリ開発  
と  
社会活動  
は  
当面の重点

実際の活動が  
本格化するにつれ、  
双方の要素が  
必要になる

---

## <アプリ開発系 グループA>

---

室蘭市	A-1	Team バードラン(連携体制賞)	混成
室蘭市	A-2	MTI 企画部	学生
鎌倉市	A-3	KAMA-gination(アイデア賞)	混成
目黒区	A-4	未来減災課(総合賞)	市民

---

## <社会活動系 グループB>

---

越前市	B-1	越前市未来計画隊	学生
越前市	B-2	福井県立武生東高等学校Hino・Quest(学生賞)	学生
宇部市	B-3	Webビジネス組	学生

---

## <社会活動系 グループC>

---

玉名市	C-1	たまな放課後地域創造クラブ	混成
那覇市	C-2	VONS(ハーバードイノベーション賞)	混成
京都市	C-3	fromHANKEI3m	混成

ファイナリストの動画や発表資料など

- 発表資料はこちら
  - OGNのサイトにアップ予定
- ファイナリストと自治体の声はこちら
  - OGNのサイトにアップ予定
- 動画はこちら
- <https://fb.watch/66TiRP54me/>

# 第二部：COG2021の進め方

---

約三十分



# 目指すは次世代の 市民社会の創造

## モットー

- 市民も主役
  - 地域のことを自分ごとに
- 行政も主役
  - 地域のプラットフォームに
- オープンガバナンス
  - 市民と行政のオープンな協働

永遠のベータ版

## アイデアに磨きをかける3D

- データ分析と見える化
  - 社会の実相の確認と裏付け
- デザイン思考
  - 当事者の心を知る共感が原点
- デジタル技術
  - 21世紀の起爆剤をうまく使う

SDGsにも貢献



# COG2021のプロセス

## STEP1(いまここ)

自治体からの  
課題募集  
(2021年6月～8月)

市民目線で課題を発掘し  
関連の公開データと共に  
地域の課題をエントリー

## STEP2

市民／学生の  
解決アイデア募集  
(2021年9月～12月)

アイデアに磨きをかける3D  
データで事実を知り  
デザインで人を知り  
デジタルを活用する

## STEP3

最終公開審査と  
改善アドバイス  
(2022年1月～4月)

アイデアの実現目指して  
小さい第一歩を踏み出す  
持続と発展を視野に入れ  
その基礎固めを手がける

# STEP1 自治体からの課題募集 8月末メ切 オープンガバナンスの第一歩

- 市民と行政の協働によるオープンガバナンスを視野にいれて、
  - 市民も主役 地域の課題に自ら取り組む市民
    - 学生は未来の市民として経験をつみます
  - 行政も主役 このような市民・学生を支えるプラットフォーム役の行政
- その第一歩として自治体による地域課題のエントリーがあります

# STEP1 自治体からの課題募集 8月末メ切

- 課題の見つけかた
  - 市民目線で課題発掘 次のスライドをどうぞ
- どんなデータが必要か
  - 統計 調査結果 報告書 計画 など
  - 市民がアクセスできる公開データや情報
  - (オープンデータ形式以外も公開してあればOK)

# 市民目線で課題を見つけるとは

- しばしば役所内では気づいていない課題が多い
- この気づきのためには
  - 日頃関係のある市民グループからのヒヤリングやワークショップを開く しみもをぬいで本音を出せる信頼関係があればやりやすい
  - 自分自身が市民目線になってみる
  - 自分の担当部署で探しにくければほかの部署に聞いてみる
- 他方で役所の希望や困りごとから出発する
  - 市民にも役所にもプラスになるように発想してみる

# STEP1 自治体からの課題募集 続き

- 課題タイトル
  - 50字以内 キャッチフレーズ
- 課題分類 複数チェックOK
- 問題意識
  - 500字以内 わかりやすく
- 担当課
  - 情報系
  - 企画系
  - 市民担当系
  - 個別業務系
  - 課題担当とデータ所管の組合せ
  - 複数でも一つの課でもよい

STEP2 市民・  
学生からのア  
イデア募集  
12月20日メ  
切

---

---

アイデア考案とデータ、  
デザイン、デジタルの  
三要素

---

市民・学生チームを適  
宜支援

# アイデアを生み出すコツ

---

市民・学生さん向け

# 課題を自分ごととして取り組んでみる

---



課題はデータや新聞・聞き取りなどで確認する



課題を希望に変えて未来を作りたい



自分たちも希望の実現をめざす その一端を担う

課題をまず掘り下げてみる  
それからアイデアにとり組む

---

- ☆ 事実を知るデータ
- ☆ 人の心を知るデザイン
- ☆ 未来を広げるデジタル

# データをどう使う

- 事実を知るのに使う（分析）
  - 自治体提示の公開データのほか自分達で探しに行ったり新聞や聞き取りも有効
  - 統計担当に聞きに行くのもよい
- アイデアの根拠としてデータを使う（理由付け）
  - こういうアイデアにしたがその根拠として関連データがあるとアイデアのストーリーに説得力が増す
  - 現状、対策のアイデア、効果をつなぐ
    - ここにデータが生きる
- データをアプリにインプットする（アプリ開発）

データとに  
らめっこで  
希望は出  
てこない

---

課題に直面している人の  
希望に迫るには

---

データの裏にある 外にあ  
る 人の行動の原点を探る

---

その行動の原点を探るに  
は……

# 行動の原点を探る デザイン 思考

---

行動の原点を探るには人間  
観察が欠かせない

---

人間観察には課題に直面し  
ている人になりきってみる

---

これがデザイン思考の共感  
やさしいようで難しい

相手への  
共感で  
希望とア  
イデアを  
見つけ出  
す

---

共感して根底の課題を抽出

---

根底の課題(ネガ)から希望(ポジ)に転換

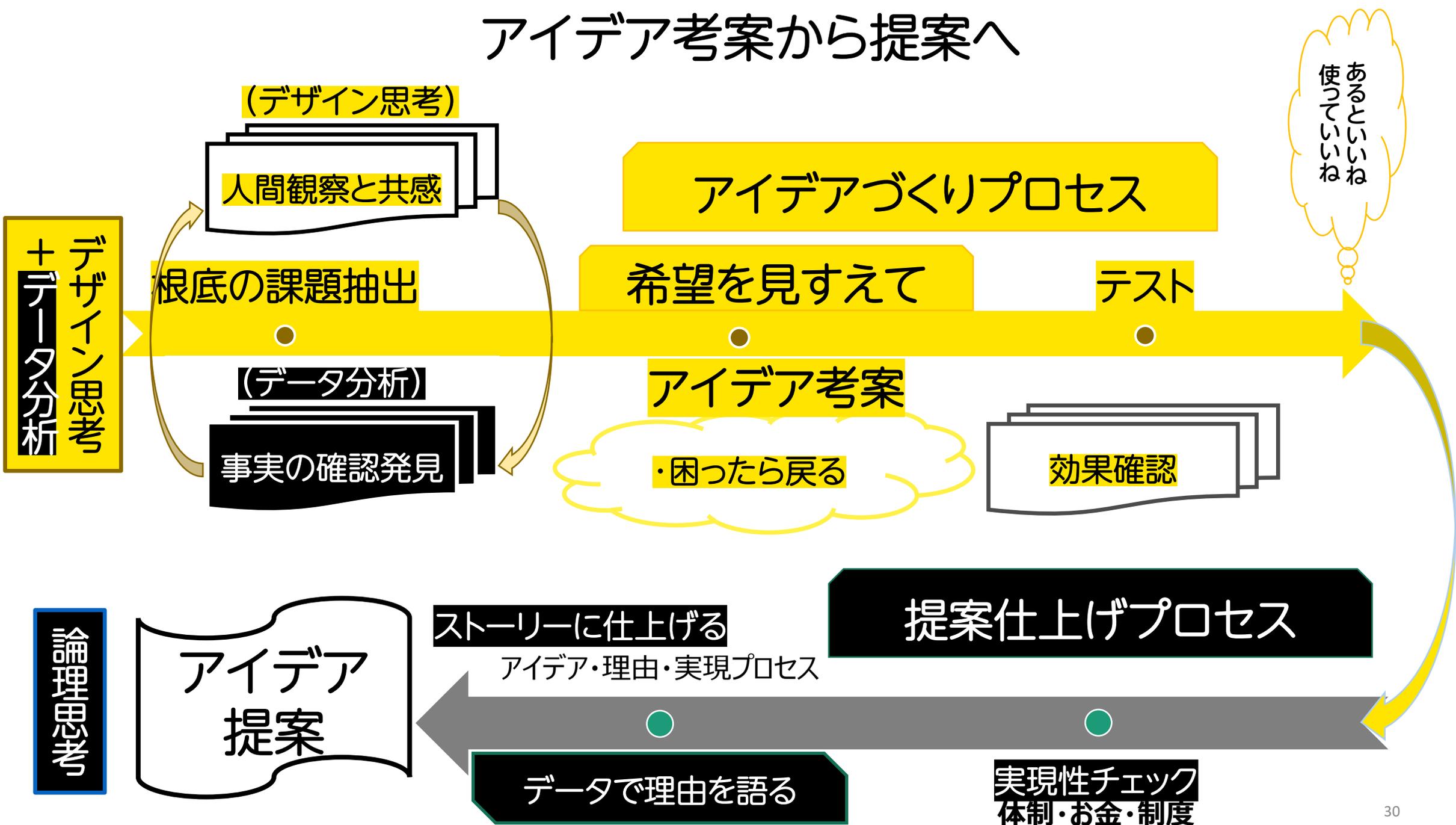
---

希望を実現するアイデアを考える

---

いろいろなみんなでアイデアを探す

# アイデア考案から提案へ



Bon Voyage au COG!

---